2. 事業別会務報告（主なもの）

1. 医学及び医術の発展を図る事業

医師をはじめとした医療従事者を対象として、学術講演を開催した。

(1)諫早医師会学術講演会

開催回数16回　参加者総数421人

(2)各医会等

開催回数25回　参加者総数540人

(3)医療安全講習会

1）日時:8月17日(木)19:00　出席者:147人

場所:諫早文化会館　中ホール

①演題:5類移行後の新型コロナウイルス感染症対策　～クラスターから学ぶ～

講師:諫早総合病院　竹村　恵　副看護師長・感染管理認定看護師

②演題:事例から学ぶ医療安全対策　～安全文化の醸成を目指して～

講師:諫早総合病院　荒木　ゆかり　看護師長・医療安全管理室長

2）日時:2月22日(木)19:00　出席者:61人

場所:諫早医師会館(Web 併用にて開催)

①演題:日本医師会監修「診療用放射線の安全利用の研修」動画研修

(4)介護保険に係る主治医意見書書き方研修会

1）日時:3月7日(木)19:00　出席者:23人

場所:諫早医師会館(Web 併用にて開催)

2. 市民の公衆衛生の向上に関する事業

市民の公衆衛生の向上を目的として、諫早市、県央保健所等が実施する事業に会員の先生が委員等として積極的に参画するとともに、以下の事業を実施した。

(1)インフルエンザ・新型コロナウイルス流行調査(令和5年シーズン)

参加医療機関　:　81医療機関

調査機関　:　5月8日から3月31日(調査継続中)

述べ報告者数　:　インフルエンザ　16，640人(3月31日現在)

コロナウイルス　16，296人(3月31日現在)

インフル ＋ コロナ　76人(3月31日現在)　合計33，012人

(2)のんのこ健康大学、市民公開講座

1）のんのこ健康大学　※本年度　中止

(3)学校保健事業

児童生徒の心臓・腎臓検診を実施するとともに会員が学校医として従事し、学校保健の向上に努めるとともに学校保健委員会等を通して、児童生徒の公衆衛生の向上に努めた。

1）心臓検診

①　検診日程

一次検診:4月12日～5月15日

二次検診:小学校6月8日、中学校5月30日

②　対象者

一次検診:小学校1年生(28校)1,207人、中学校1年生(14校)1,142人

二次検診:小学校29人、中学校33人

2）腎臓検診

①　腎臓検診(全学年及び教職員)

小学校(28校)7,912人、中学校(14校)3,745人

幼稚園(1園)　32人　、保育所(2か所)161人

(4)産業保健事業

1） 産業保健センター事業

健康相談医　11人

令和5年度健康相談者(諫早医師会分)849人

2） 産業医登録医師数　59人

(5)諫早市乳幼児健康診査事業

派遣医師延べ日数　85日

(6)がん検診事業

1） 結核・肺がん検診

令和5年度検診受診者数

一般　11,456人、原爆　59人　　計　11,515人

二次読影医　15　人

(7)医師会役員と諫早市との協議会事業

1） 10月18日　諫早市議会教育厚生委員会との協議会

2） 12月20日　諫早市との連絡協議会

(8)新型コロナ対策

1） 諫早市新型コロナウイルスワクチン集団接種

延べ接種回数:7,177回、協力医師数:252人、協力看護職員数:132人

2） 諫早市コロナウイルス感染症対策

諫早市とのワクチン接種に係る協議(6/28、8/29)

3. 地域の保健・医療・福祉の推進発展に関する事業

(1)諫早医師会保健文化賞授与事業

1） 3団体1個人に授与

(2)医療連携事業

1） 県央医師会合同理事会　　5月20日

2） 長崎医療センターとの協議会　　7月6日

3） 諫早総合病院、日赤長崎原爆諫早病院との協議会　　8月3日

4） 長崎県医師会執行部との協議会　　11月29日

5） 諫早市三師会役員協議会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)　　2月14日

(3)地域包括ケアの推進

1） 諫早市が主催する地域包括ケア推進協議会等に役員が委員として参画。

2） 医師会ホームページの更新(在宅医療検索システムの構築)

(4)小児救急(こども準夜)診療センター事業

1） 開設日数、時間

364日(天候不順による休診2日間)、午後8時～午後11時

2） 従事医師等延べ人数

医師　396人　看護師　396人　事務　54人

患者数　年間延人数　1，862人(諫早市内:1，523人、諫早市外:339人)

平均/日　5．1人、最大/日　29人

(5)救急業務事業

1） 在宅当番医

開設日数　74日、 患者数　14,258人　一医療機関当り日平均　38人

最大月/ 1月(総数　1,873人、平均48人)

最小月/ 6月(総数　560人、平均25人)

2） 救急業務協議会　10月3日

参加機関:諫早市、諫早消防署、諫早警察署、長崎医療センター

二次救急病院、県央保健所、諫早医師会

4. 看護要員の養成に関する事業

看護学校運営会議　13回開催

(1)専門課程(在籍者数は3月1日現在)

1年生34名、2年生35名(休学者1名含む)、3年生38名(休学者4名含む)

3月22日　国家試験の結果が発表され、33名が合格した。

5. 共益事業

医師会報「研」発行、長寿祝い・医師会忘年会、新年祈願祭

会員慶弔、永年勤続従業員表彰、レセプト・特定健診データ送付業務

6. 看護・介護の推進に関する事業

センター運営委員会:1回／月

(1)ケアセンターたんぽぽ　(月平均利用者数)

1)　居宅介護支援事業所　　173人

2)　訪問看護ステーション　　50人

3)　ヘルパーステーション　　66人

7. 地域包括支援センター事業

(1)諫早市北部地域包括支援センター事業

1)　総合相談業務(相談者:465人)

2)　権利擁護業務(成年後見人等:5人、高齢者虐待:11人)
(消費者被害:0人、処遇困難:13人)

3)　介護予防マネジメント事業(事業参加者プラン作成数:12人)

4)　包括的・継続的ケアマネジメント業務(ケアマネ相談:52件)

5)　地域ケア会議(課題解決型ケア会議7回、介護予防のための地域ケア会議:2回)

6)　指定介護予防支援事業(令和6年3月の請求件数:159件)
第1号介護予防支援事業(総合事業)(令和6年3月の請求件数:204件)
(計363件)

7)　生活支援体制業務
①「語らん場」 御館山小校区(1回)、本野地区(1回)
真城中校区(2回)、 西諫早小校区(2回)

8. 諫早市在宅医療・介護連携支援センター事業

(1)諫早市在宅医療・介護連携支援センター事業(かけはし　いさはや)

1)　在宅医療に関する相談　(件数　20件)

2)　事業所等訪問　(件数　210件)

3)　在宅医療(療養)資源情報の収集・更新及びホームページによる情報発信

4)　医療・介護関係者の研修会

①こはく堂薬局　管理薬剤師　池田　理恵先生
テーマ　「リハビリテーション薬剤　生活を支える薬物療法のキホン」　参加者49名

②地域包括ケア推進課　新野課長、林田主任
テーマ:「諫早市の ACP の取り組み」　参加者66名

③増山歯科医院院長　増山　隆一先生
テーマ:「お口の気づきから連携を考える」　参加者44名

④やまもと眼科院長　山本　広樹先生
テーマ:「在宅医療における眼疾患について～高齢者に多い眼疾患とその対応」
参加者36名

5） 地域住民への在宅医療・介護連携普及啓発

テーマ:「在宅医療ってなあに？～あなたを支える医療と介護～」

①在宅医療・介護に関する市民講演会

・場所:小長井文化ホール　　参加者49名

講師:諫早市介護保険課主任、山﨑病院院長、

ヒカリデンタルクリニック院長、そうごう薬局小長井店薬剤師

・場所:小野ふれあい会館　　参加者52名

講師:諫早市地域包括ケア推進課、美南の丘クリニック院長、

たなか歯科医院院長、そうごう薬局諫早小野町店薬剤師

②「医療と介護のお気軽座談会」(対象:10 名以上の市民の団体やグループ)

対象団体(民児協、公民館講座)　開催回数8回　参加者合計123名

6）「Kakehashi いさはや」情報紙　第9号～第11号発行

発行部数各 1000 部　配布先:医療機関、介護サービス事業所、高齢者施設　ほか

9. 法人運営

(1) 総　会

1） 定例総会(決算)令和5年5月25日(出席者36名、委任状141名)

2） 臨時総会(予算)令和6年3月21日(出席者42名、委任状119名)

(2) 理事会

1） 定例理事会:毎月第2・第4火曜日(11・12月は第1・第3火曜日に開催)

年間 24回　主要議題(別紙のとおり)